

(2016 年度) 第 5 回応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

[午後の部]

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2016 年 11 月 26 日（土）の 10 時 0 分から 15 時 0 分までとする。
  - ・午前の部：10 時 0 分から 12 時 0 分までの 2 時間。
  - ・午後の部：13 時 0 分から 15 時 0 分までの 2 時間。
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 解答は、図示を求める問題に対しては [地形図] (地形判読記号などを記入する [記号凡例用紙] を含む) に、記述を求める問題に対しては [マス目入り答案用紙] に、それぞれ記入すること。

**地形図（記号凡例用紙を含む）およびマス目入り答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。**
- (4) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加え空中写真判読を行うこと。

これらの結果は、その地形図に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (5) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある [記号凡例用紙] に記入すること。
- (6) 試験の開始にあたり、印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (7) 試験開始後は、参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (8) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (9) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。

ただし、①地形図（記号凡例用紙を含む）、②マス目入り答案用紙、③空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 地形図と記号凡例用紙および答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。

《問 題》

1. 地形図に実線で示した範囲について、地形図読図と空中写真判読によって地形を分類し、その結果を地形図上に図示しなさい。その際、更新世に発生した地質現象に着目して、応用地形学的に重要でかつ主要な地形種を図示すればよい。

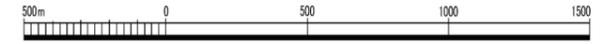
地形分類記号などは任意に設定して、別紙の〔記号凡例用紙〕に記入しなさい。

- 2-1. 地形図に示す小大野川のア地点に、高さ 50m 程度のダムを建設する計画があると仮定する。このダムおよび貯水池を調査・設計する際の留意点を応用地形学的観点から抽出して、マス目入り答案用紙に 800 字を超えないように記述しなさい。必要に応じ、地形図中の参照する地点・地域に、記号・番号などを付してもよい。

<参考>

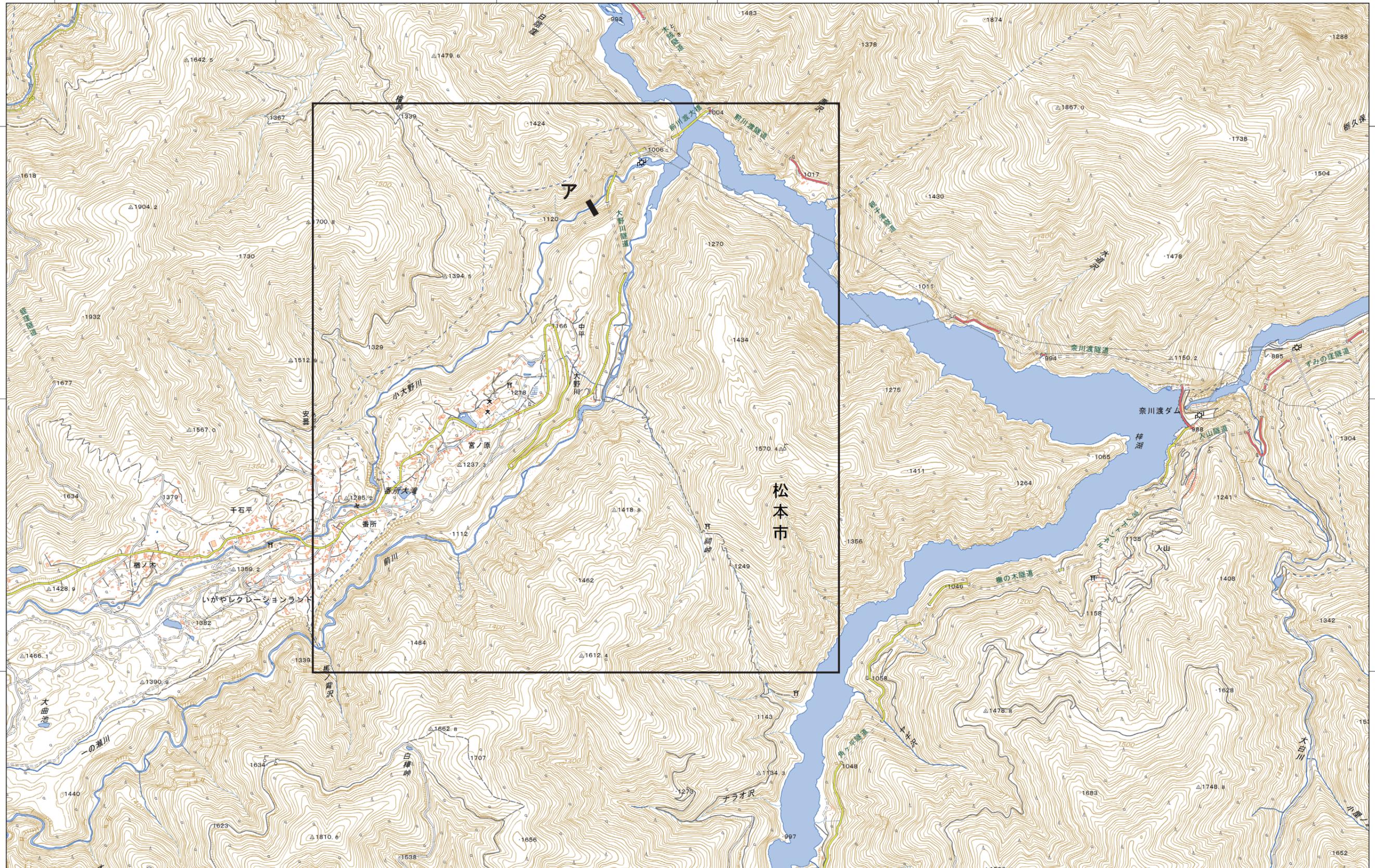
地形図 国土地理院「電子地形図 25000」／出題範囲は図示の緯度・経度を参照  
(データ取得日：2016年9月23日)

空中写真 整理番号：CB-73-8Y／コース番号：C12／写真番号：9-11



137° 37' 46.93"  
36° 9' 27.06"

137° 43' 56.88"  
36° 9' 27.06"



137° 37' 47.05"  
36° 6' 16.51"

137° 43' 56.75"  
36° 6' 16.52"

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 等高線及び等深線の間隔は10メートル
5. 磁気偏角は西偏約7° 20'
6. 図式は平成24年電子地形図25000図式
7. 本図上部の枠内には、この地図の購入者が入力したものをそのまま記載しています

平成28年 9月23日 調製

著作権所有兼発行者 国土地理院

137.68-36.13-A3-y-20160923-141430-0000